

小出じょうじの略歴

昭和35年8月5日 市原市青柳に生まれる
 昭和48年 千種小学校を卒業
 昭和51年 五井中学校を卒業
 昭和54年 県立木更津高校を卒業
 昭和57年 東海大学短期大学部を卒業
 昭和58年 小出運輸(有)(現コイデ陸運(株))入社
 平成 7年 代表取締役役に就任
 平成 7年 東京湾岸交通(株)設立
 平成15年 市原市議会議員に初当選
 平成17年 経済環境常任委員会副委員長に就任
 平成19年 市原市議会議員に当選(2期目)
 平成22年 市原市議会副議長に就任
 平成23年 市原市議会議員に当選(3期目)
 平成25年 市原市議会第48代議長に就任
 平成27年 市原市長選挙に出馬表明

現在その他の役職

千葉県タクシー協会副会長
 千葉県タクシー協会市原支部支部長
 市原市少年野球協会会長
 市原市ボクシング連盟会長



小出じょうじのごあいさつを
動画でご覧いただけます

小出じょうじ

検索

小出 じょうじ

後援会報 vol.2

〔政策ダイジェスト編〕



後援会事務所ご案内図



小出 じょうじ

小出じょうじ後援会

〒290-0055 市原市五井東 3-6-8

TEL.0436-20-8550 FAX.0436-37-3600

URL <http://koidejoji.com> E-mail info@koidejoji.com

 <https://www.facebook.com/JojiKoide>

後援会討議資料

私の政策

—基本政策と5つの重点政策—

人口減少を克服し、

持続的に発展する市原市へ！

《基本政策》

日本の総人口は減少を続けており、およそ30年後には、1億人を割り込み、その後も、さらに減少するとの予測が公表されています。また、若者や働き盛りの生産年齢人口が減り、65歳以上の高齢者の割合は、世界最高水準で増加すると、推計されています。このことは、国力の低下、税収の減少、行政サービスの低下、まちづくりへの影響など、国・地方を通じた構造的課題へと直結します。市原市は、平成25年、1年間に1357人が減少し、県内ワースト1位でした。しかも、その多くが若い女性です。政治や行政が手を挙げば、消滅可能性都市となってしまいます。国の人口推計でも、約28万の人口が、2040年には、約22万となるとしています。

国では、この課題に対して、真正面から「地方創生」を推し進めています。

市原市でも、危機感をもって、「まち・ひと・しごと創生」、「市原創生」に総力戦で取り組み、そして市制100周年に向けて、持続的に発展する「新たな道」を創生しなければなりません。

- 地方創生に向け、5ヵ年の市原版総合戦略を策定し、新しい人の流れを作り人口減少を克服
- 地方創生を早期に着手し、地域経済の活性化を推進
- 新しいまちづくり計画として実効性の高い新総合計画策定
- 戦略や計画の策定に市民参画と専門家の知見を結集
- 市役所に地方創生推進本部を設置
- 若者・女性を対象に総合的な人口減少、少子化対策を推進
- 高速幹線道路や鉄道を軸に、近隣市や東京・横浜方面との広域連携強化



健全な財政へ

5つの重点政策

5

だからこそ、はじめに、

行政・経営改革を実行！

いま、市原市の財政は、ピンチです。市税収入が減少する一方で社会保障関連経費の増大等により、経常収支比率は年々悪化し、90%を超えています。このままの状態が続けば、財政が硬直し、新たな市民サービスや政策の推進に充てる財源がなくなってしまいます。市制施行以来、初めて普通地方交付税の交付団体となり、国から財政支援を受けるようになりましたが、これを契機に、思い切った行政の経営改革を実行し、まだ、底力の残るうちに、健全財政と強固な財政基盤の再生を急ぎます。

- 市役所のすべての事務事業を見直し、効率化を徹底し、新総合計画の実行力を確保
- 五井会館、旧ヨーカドービルに民間活力を導入し活用策を確立(売却処分も視野)
- 市民との協働、民間活力の活用による行政のスリム化を実行
- 廃校の跡地・跡施設の処分や貸付を含む遊休財産活用の明確化
- 特別職を含めた職員人件費の適正化と職員数の抑制を実行





市原に笑顔を 5つの重点政策 1

「元気・魅力倍増」の 経済環境都市へ！

市原に笑顔があふれ、再び活気を取り戻すために、全力を尽くします。
多彩な顔を持つ市原の魅力を倍増させ、地域経済の活性化を図ります。
特に、臨海コンビナートをめぐる諸課題には、危機感を持って取り組みます。
また、各地域の個性を大切に、ブドウの房のように、小さな実が集まって大きな力を発揮するような
イメージで街のグランドデザインを描き、コンパクトシティとネットワークの発想で、
市原の強みを発揮する都市づくりを展開します。
そして、美しく豊かな自然環境と共生し、人と人、地域と地域、都市と都市との連携や交流を進め、
新たな文化と価値を創造する元気な経済環境都市の実現をめざします。

- 地域の個性や資源を活かし、JR3駅など各地域拠点の輝き倍増策を推進
- 都市計画の規制緩和による市街地周辺の土地活用促進で人口増へ
- 豊かな自然環境の保全、里山の整備、活性化資源としての活用強化
- 国・県・市・企業が一体となった臨海部コンビナートの競争力強化
- 中小企業を含む産業基盤の強靱化と起業支援

子どもに希望を 5つの重点政策 4

「未来が輝く」子育てと教育、 スポーツ・文化都市へ！

希望あふれる未来のために、子ども達を笑顔にする子育てと教育に全力を尽くします。
すべての子ども達が自分の資質や能力を伸ばし、可能性を見つけ社会の中で生かすことが
できるような教育を推進します。
また、安心して子どもを産み育て、女性が活躍する社会づくりを進めるとともに、
専門学校や大学の誘致、市原文化の創造、市原でこそ可能となるスポーツの振興を図ります。
そして、未来を切り開く、子育てと教育、スポーツ・文化都市をめざします。

- 幼児期の学校教育・保育や地域の子ども子育て支援の総合的な推進
- 特色ある学校教育と子ども達が思い切り学べる教育環境の整備、
- 障がい等のある子どもへの支援の充実
- ワークライフバランス等、女性が働きやすい環境の整備
- 野球、サッカー、武道、ゴルフなど地域の魅力を活かしたスポーツの振興





市原に安心を 5つの重点政策 2

**保健・医療・福祉で
安心生活都市へ！**

子どもから高齢者まで、すべての市民が支えあい、住み慣れた地域で笑顔でいきいきと暮らせるよう、全力を尽くします。

生活習慣の改善や介護予防・健康診断の受診率を高めるなど、健康意識の向上を図ります。病気や障がいを含め、様々なニーズに対応した、最適な医療・福祉サービスが受けられるよう、その仕組みづくりを加速します。さらに、高度な医療を充実させ、市民の命を守ります。

また、様々な生活環境のなかで、その人の希望になった職業につき、所得を得て安定的な生活ができるよう、サポート体制を整えます。

そして、保健・医療・福祉・地域が連携した、安心生活都市をめざします。

- 保健・医療・福祉・介護・地域の連携した在宅医療・地域包括ケア体制の推進
- 小児救急、2次救急医療の充実、3次救急の確保で救命救急センターの設置
- 障がいや病気のある方・生活困窮者への自立支援を推進
- 高齢化社会への対応として、各種保健事業と予防医療の充実
- 健康づくり(体操など)に取り組む町会に、集会施設の環境整備を支援

市原に安全を 5つの重点政策 3

**防災・危機管理・都市基盤の整備で
安全快適都市へ！**

首都直下型の大地震の発生確率が高まるとともに、豪雨や豪雪、火山噴火による甚大な被害が相次ぐなか、想定を超えた自然災害に対する危機管理の強化に全力を尽くします。特に、コンビナート防災については、市民生活はもちろん、首都圏全体へのダメージを踏まえ、災害医療体制を含め、国・県・市が一体となった強靱化を図ります。

また、長年の課題である平成通りなど主要幹線道路や下水道といった都市基盤整備を前進させるとともに、バリアフリー化、空き家対策、防犯対策に力を入れてまいります。

そして、市民がいつまでも住み続けたいと思える、安全快適都市をめざします。

- 地震・火山・豪雨・豪雪など、想定を超える自然災害への危機管理強化
- 平成通りなどの都市計画道路を中心とした主要幹線道路の早期整備
- 地域・警察・市が連携した防犯対策のさらなる充実
- 千葉県消防学校との連携を前提にした防災力、消防力の充実強化
- 交通渋滞箇所の交差点改良と歩道のバリアフリー化の推進

